

# 令和2年5月 東京地区百貨店売上高概況

令和2年6月23日

## I. 概況

1. 売上高総額	347億円余
2. 前年同月比	-71.6% (店舗数調整後/8か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-79.7%(64.9%) : 非店頭11.5%(35.1%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 25店 (令和2年4月対比±0店)
5. 総店舗面積	824,526㎡ (前年同月比:-1.3%)
6. 総従業員数	16,488人 (前年同月比:-4.9%)
7. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -8.1%、11-1月 -3.5%、12-2月 -5.6%、 1-3月 -17.2%、2-4月 -41.6%、3-5月 -59.6%

[参考] 令和元年5月の売上高増減率は-1.6%

### 【特徴】

- (1) 5月の東京地区は、25日まで続いた「緊急事態宣言」の下、都内各店で臨時休業や一部フロアでの限定営業等の自粛が継続され、他地区に比べて全店での営業再開が遅れた。売上高(71.6%減/8か月連続)は前月より4.5ポイント改善したものの、営業日数が18.1日(前年同月比12.9日減)と全国平均より少なく厳しい商況となった。
- (2) 前月に続き、EC売上等の非店頭売上は11.5%増(2か月連続/シェア35.1%)と二桁の伸びを示し、営業自粛で苦戦する店頭業績を下支えした。特に食料品やコスメ、リビングアイテムなどが人気で、中旬からスタートした中元ギフトのオンライン受注も出足が好調で、ギフト需要の底堅さを見せた。
- (3) 商品別では、休業が長く続いた衣料品(83.8%減)、身のまわり品(76.3%減)、雑貨(82.6%減)が厳しい結果となった一方、食料品(50.4%減)は多くの店舗で営業を継続したことから比較的堅調に推移した。生鮮食品(28.9%減)やワイン、洋酒などの酒類が好調で、百貨店ならではの高級食材も人気だった。また、全館での営業再開以降は、化粧品のまとめ買いや、休業していた特選ブランドなどにも需要が見られた。
- (4) 6月中間段階の商況は、都内全店が全館営業を再開したことから、29.3%減(6/17)で推移しており、回復傾向はより明確になってきている。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 18.1日(前年同月比 -12.9日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)  
①増加した:1店、②変化なし:0店、③減少した:17店
- (3) 5月歳時記(GW、母の日)の売上(同上/有効回答数15店舗)  
①増加した:2店、②変化なし:0店、③減少した:13店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2020年5月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>34,795,254</b>	<b>100.0</b>	<b>-71.6 ( -71.7)</b>
紳士服・洋品	1,646,798	4.7	-84.2 ( -84.2)
婦人服・洋品	2,725,524	7.8	-87.1 ( -87.1)
子供服・洋品	992,445	2.9	-61.2 ( -61.2)
その他衣料品	478,848	1.4	-76.6 ( -76.6)
<b>衣 料 品</b>	<b>5,843,615</b>	<b>16.8</b>	<b>-83.8 ( -83.8)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>4,319,749</b>	<b>12.4</b>	<b>-76.3 ( -76.3)</b>
化粧品	2,236,783	6.4	-84.5 ( -84.5)
美術・宝飾・貴金属	1,209,311	3.5	-87.5 ( -87.5)
その他雑貨	1,610,239	4.6	-67.4 ( -67.4)
<b>雑 貨</b>	<b>5,056,333</b>	<b>14.5</b>	<b>-82.6 ( -82.6)</b>
家具	1,122,207	3.2	-28.2 ( -28.2)
家電	714,999	2.1	-18.3 ( -18.3)
その他家庭用品	1,532,906	4.4	-47.7 ( -47.7)
<b>家庭用品</b>	<b>3,370,112</b>	<b>9.7</b>	<b>-37.3 ( -37.3)</b>
生鮮食品	2,812,697	8.1	-28.9 ( -28.9)
菓子	2,211,892	6.4	-69.0 ( -69.0)
惣菜	2,898,896	8.3	-53.5 ( -53.5)
その他食料品	4,930,033	14.2	-42.7 ( -42.7)
<b>食 料 品</b>	<b>12,853,518</b>	<b>36.9</b>	<b>-50.4 ( -50.4)</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>183,637</b>	<b>0.5</b>	<b>-93.4 ( -93.5)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>780,613</b>	<b>2.2</b>	<b>-63.4 ( -63.4)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>2,387,677</b>	<b>6.9</b>	<b>-17.7 ( -25.3)</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	703,173 千円	-64.4 ( -64.4)
従業員数	16,488 人	-4.9
店舗面積	824,526 m <sup>2</sup>	-1.3
営業日数	18.1 日	前年 31.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月連続で全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も3か月連続で全品目がマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-71.6</b>	<b>—</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	-84.2	-7.1	8か月連続マイナス
婦人服・洋品	-87.1	-15.0	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-61.2	-1.3	8か月連続マイナス
その他衣料品	-76.6	-1.3	8か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-83.8</b>	<b>-24.7</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-76.3</b>	<b>-11.3</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
化粧品	-84.5	-10.0	8か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-87.5	-6.9	4か月連続マイナス*
その他雑貨	-67.4	-2.7	8か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>-82.6</b>	<b>-19.6</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
家具	-28.2	-0.4	3か月連続マイナス
家電	-18.3	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-47.7	-1.1	8か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-37.3</b>	<b>-1.6</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-28.9	-0.9	20か月連続マイナス*
菓子	-69.0	-4.0	4か月連続マイナス*
惣菜	-53.5	-2.7	4か月連続マイナス*
その他食料品	-42.7	-3.0	3か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-50.4</b>	<b>-10.7</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-93.4</b>	<b>-2.1</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-63.4</b>	<b>-1.1</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>その他</b>	<b>-17.7</b>	<b>-0.4</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>-64.4</b>	<b>-1.0</b>	<b>20か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>